

変化への挑戦

九州電力は1951年の創立以来、「電力を安定してお客さまにお届けすることを通じて、お客さまの生活や地域・社会に貢献する」ことを使命と捉え、戦後の復興から始まり、経済成長に伴う電力需要の拡大、オイルショック、電力・ガス自由化など、時代の大きな変化に挑戦してまいりました。

今後も電力システム改革をはじめとする多くの経営環境の変化や課題に対して、「迎え撃つ」のではなく挑戦者として取り組むことで、更なる企業価値向上に努めてまいります。

時代の大きな変化

更なる企業価値向上に向けた取組み

電力・ガスシステム 改革の進展

多様なビジネススキームの創出

これまでは、発電、送配電、小売部門の一貫体制により電気を販売してきました。電力・ガスシステム改革により経営環境が大きく変化する中、この変化をチャンスと捉え、更なる収益基盤の拡大を目指します。

海外市場における 電力需要の増加

これまで培った強みを世界へ展開

これまで国内外で蓄積した技術・ノウハウを活かし、市場の成長性が高いアジアを中心に、IPP※事業を軸に展開していきます。

※ Independent Power Producer (独立系発電事業者) の略

再生可能エネルギーに 対する期待の高まり

再生可能エネルギーの開発・推進

安定供給や環境性などを考慮しながら、これまで国内外で蓄積した技術・ノウハウを活かし、地熱や水力を中心に、潜在的なポテンシャルがある洋上風力についても、技術開発の進展などを踏まえながら取り組んでいます。

変わらない
使命・思い

安定供給



当社初のLNG専焼発電所
「新小倉発電所」



熊本地震における
復旧作業の様子

安全・
安心への
取組み



玄海原子力発電所におけ
る冷却水供給訓練



2017年4月に開始した「きゅうでんガス」



2016年4月に開始した100%子会社「九電みらいエナジー(株)」による関東エリアでの電力小売販売

▶特集 1 (P.20) 参照
電力・ガス小売全面自由化への取組み



ベトナム初の外資による IPP 事業「フォーミー発電所3号プロジェクト」(ベトナム)



世界最大規模の「サルーラ地熱発電所」(インドネシア)

▶特集 2 (P.24) 参照
海外エネルギー事業の強化に向けた取組み



日本初のアーチ式ダム「上椎葉発電所」



日本最大の地熱発電所「八丁原地熱発電所」

▶特集 3 (P.28) 参照
再生可能エネルギー事業の拡大に向けた取組み



川内原子力発電所における住民避難支援訓練

地域共生



地域の方とのふれあい「事業所オープンデー」の様子



「くじゅう九電の森」での環境教育活動の様子

▶ P.42 参照
CSRの重点項目